

主権 在客 ようざん通信

認知症対応型通所介護

スーパーデイようざん飯塚

6月、田植えの時期になりましたがスーパーデイようざん飯塚では畑に植えたピーマンやナス、トマトが大きく成長しております。5月の中旬に藤岡北高校様の御好意で、野菜の苗をおすそ分けして頂きました。利用者様はやはり畑仕事はお手の物!野菜を自分たちの手で育てて収穫できる楽しみが出来ました。今はスーパーに行けば何でも手に入る時代ですが、昔を生きてきた利用者様にとっては『朝採った野菜は新鮮で何よりも美味しい御馳走ですよ!手間暇かけないと野菜も

生きてますからすぐダメになっちゃうの!』と目を輝かせてお話して下さいました。また、藤岡の庚申山公園へ藤見学に出かけたり、お誕生日外出では仲良しの利用者様と個別で高崎の名所巡りへ行ったりと日々の生活を楽しんでおります。気の合う利用者様同士は会話がはずみ話がつきません。母の日には和室を利用してミニお茶会を開催しました。お茶会の厳粛な雰囲気を楽しみ、和菓子もいただきました。たくさんの笑顔に囲まれて日々、利用者様のケアが出来て私自身も幸せに感じております。今後も素敵な笑顔に出会えるよう毎日の生活を大切に職員一同頑張っております!(新井)



小規模多機能型居宅介護

ケアサポートセンターようざん双葉

今回は、元気いっぱい!ケアサポートセンターようざん双葉の事業所の様子を紹介させていただきます。玄関を入り右手には、これまでの「よってって交流会」のポスターが所狭しと掲示されており、「よってって交流会」の軌跡が一目瞭然です。そして、華道師範である利用者様が活かしたお花でお出迎え。その美しさに皆さん圧倒される事でしょう。下駄箱上の日本人形は近所の方や利用者様から頂き飾らせて頂いております。さらに廊下には『私は誰でしょう』コーナーがあります。利用者様の若かりし頃のお写真があり、皆さん美男美女揃い。他にも日々

の様子を写した写真がたくさん飾ってあります。運だめしとしてスロットで一勝負!そして、その先には、たくさんの笑顔あふれるホールとなっております。

このホール、よってって交流会で大活躍。「スナックいこい」や「お誕生日会場」になったり、甘味処、カラオケスタジオ等々にも早変わり。利用者と共に作った「おやつ」でおもてなし致します。さて、五月の「よってって交流会」は、ようざん通貨を使って賭け事の交流会を行います。お越しの際には、是非、双葉ホーム内もご覧になってはいかがでしょうか。(小野閑)



認知症対応型通所介護

スーパーデイようざん

スーパーデイようざんから見える観音様を望む土手は、柔らかな若草色のじゅうたんです。青い空には大きなこのぼりが悠々と泳いでいて、菜の花の黄色、菖蒲のうす紫、ピンクや白の花ミズキ。5月の散歩は、心地よい緑の風の中をゆっくりと皆で歩きます。「これがこの間植えたきゅうり、これはなす、これはミニトマト」「タンポポかわいいね」「今日の空青い」なんて周りの小さな変化に驚き、楽しみながら、時には冗談を言って笑いながら皆でゆっくりと歩きます。

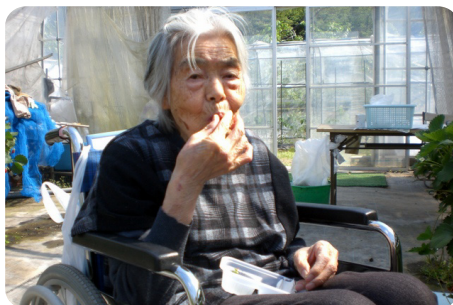
「こんにちはー」と挨拶すると、ご近所のなじみの方から、「畑を整理するから玉ねぎもらってくれるー?」「菜っ葉もよかったらー」と声がかかります。「それはありがたい・・・」と頂いてきた野菜はアツという間に手なれた利用者の方々によって味噌汁の具になりました。

保育園の時からよく遊びにきてくれていた近所のMちゃんも今では小学3年生。一緒に折り紙を折ったり、歌をうたってくれたり、ボール投げをしたり、そうそうこの間は、お母さんと一緒にバイオリンとオル

ガンを披露してくださいました。最近では部活(バレー部)に入ってお家族でバレーの練習。そんな様子を笑顔で見ている89歳のTさん「私も昔はバレー部だったんですよ。」と懐かしそう。Mちゃんのお友達も混ざったバレーの練習にしばし皆で一緒に見とれていました。

ご近所の方々には本当にお世話になっていてこんなゆったりとした柔らかい交流の時間が流れています。端午の節句は、菖蒲湯、ちらしずしと柏餅風おやつでお祝いし、13日の母の日に向けては懐かしいお母さんへの想いを伺うと共に、ご本人にも改めてこれまでいろいろとお世話になっていること、そして今後もようざんのお母さんとしていろいろと教えて頂けるようお願いをしました。

また、毎年恒例イチゴ狩りに行って春の味覚も味わってきました。イチゴ畑の赤くてかわいいイチゴに皆夢中で、「これも赤い、あれも赤い、あ、それも・・・と」すごい意欲で止まりません。終わりにしようと言ってもどこ吹く風です。大満足で、やっと帰苑することとなりました。なじみのお仲間や職員、温かな近隣の方々に囲まれながら、これからもめぐる季節を十分満喫し日々を楽しんで生活して行きたいと思っています。(田村)



認知症対応型共同生活介護

グループホームようざん倉賀野

もう6月ですね!時の流れの速さに少しあせりを感じる今日この頃ですが、皆様いかがお過ごしでしょうか?グループホームようざん倉賀野では5月13日の母の日に入居者様お一人お一人にお手紙を渡しました。皆さんともうれしそうに読まれておりました。面会に来られたご家族からのカーネーションや花の寄せ植え・ランの花などで棚がいっぱいになりました。毎日交代で入居者様と水やりをかかさず行っています。陽気がよくなるにつれ屋外でお茶をする機会も増えました。“外は気持ちがいいね・・・”と笑顔でお茶を召し上がっておられるのを見ると、私達も自然と気持ちがホンワカしてきます。花壇の花植えや草むしりもお手い

して頂き、その手際の良さに脱帽しました。“ナスの苗には支え棒をするんだよ。”など、教えて頂くことも多々あります。5月の制作レクリエーションとして、入居者様と一緒に作った鯉のぼりが窓や壁に、そして、フロアーに飾られた、たくさんの鯉のぼりがさわやかな風に元気に泳いでいました。子供の日のイベントとしてお抹茶をたててお茶会を行いました。柏餅を召しあがりながら“昔は庭に柱を立てて鯉のぼりを泳がせたもんだが、最近はあまり見かけないね”などと昔を懐かしんでおられました。梅雨、そして、今年も暑い季節を迎え利用者様には厳しい時期となりますが、体調管理に気を付けて行きたいと思えます。(会沢)



小規模多機能型居宅介護

ケアサポートセンターようざん

皆様 こんにちは。初夏の気配が漂う今日この頃ですが、いかが、お過ごしですか?

ケアサポートセンターようざんでは、制作レクリエーションで利用者様と一緒に作った「藤棚」や「紫陽花」「牡丹の花」を飾り付けた室内で、お花見気分を味わって頂いています。また、『ようざん園芸クラブ』と銘打って、「忘れな草」や「バーベナ」の寄せ植えや、「朝顔」の種まき

も行いました。土や植物に触れて、愛おしそうに花の成長を楽しみに水やりをしている姿を見て、私たちも一緒に楽しませて頂いています。

それからもちろん、舌でも季節を味わいました。おやつレクリエーションでは、「よもぎ蒸しパン」を作りました。

これからも、目で見、触って、味わって…利用者様の笑顔が沢山見られるよう、スタッフ一同、努力してまいりますので、宜しくお願い致します。(吉田)



認知症対応型共同生活介護

グループホームようざん飯塚

新緑の鮮やかな気持ち良い季節となりました。5月より管理者を務めさせて頂いております金井と申します。利用者様の個性や生活習慣を大切に、毎日心地よく安心して生活できるように支援させて頂きたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

さて、グループホーム飯塚では中華バイキングを行いました。ラーメンやチャーハン、餃子等々…デザートには杏仁豆腐を提供し、メニュー豊富な中華料理をお腹一杯味わって頂きました。また、気候の良い時期なので、天気の良い日には積極的に外に出かけております。散歩では皆様清々しい表情をされます。梅雨までの期間、なるべく外に出掛けて身体を動かし季節を感じて頂きたいと思っております。(金井)



小規模多機能型居宅介護

ケアサポートセンターようざん飯塚

花咲き誇る春も終わり、新緑の季節が巡ってきました。季節の変わり目で体調管理は大丈夫でしょうか?ケアサポートセンターようざん飯塚では端午の節句でこいのぼりを作りました。近隣のおひさま保育園の園児たちの協力でウロコに絵を書いて頂いて、利用者様には1人1人の手形を押してもらいました。青と赤の2匹のかわいいそして大きなこいのぼりが出来ました。ホールで元気よく泳いでいます。

先日もおひさま保育園の1、2歳児の小さな訪問がありました。散歩

の途中で水分補給に立ち寄ってくれて、お礼にと振り付けを交えた手遊びうたを4曲も大きな声で唄ってくれました。突然のかわいい訪問に利用者様もとてもにこやかに見守っていました。近隣の方々の訪問を心待ちにしています。気軽に立ち寄って頂ければ幸いです。ホールでは手作りのさくらが葉桜に変わり、母の日のカーネーション作りや、藤岡の藤の花を見に行ってきたのでその再現をしようと折り紙で作成中です。並行してあじさいも作成中です。どんな華やかなホールが出来上がるか楽しみです。是非、お立ち寄りください。(阿部)



認知症対応型通所介護

スーパーデイようざん栗崎



若葉の緑が日に日に濃さを増す季節となりました。ようざん栗崎では3ユニット合同の春の運動会を開催しました。車椅子の方や杖歩行の方も全員参加出来るよう工夫しました。椅子に

座って出来る玉入れ、高さを変えたパン喰い競争、大きいおたまでのスプーンリレーなど「妙義」「榛名」「赤城」「浅間」の4つの団に分かれて競いました。いつもより真剣な顔やボールを落としても笑っている顔、いろいろな姿が見られました。優勝出来なかった事など関係なく参加できた喜びを感じて頂けたと思います。終わった後「楽しかった」「またやってね」と言う声がたくさん聞かれました。



見に来て頂いたご家族様、如何でしたでしょうか?自宅とは、違う姿が見られたかと思えます。来苑出来なかったご家族様には写真を持ち帰っていただきました。ご家族からは、「見たかった」「次も楽しみです」と、ふれあいノートに多数コメントを寄せて頂き職員一同大変うれしく思いました。

また、スーパーデイようざん栗崎では、製作にも力を入れております。季節を楽しんで頂く為、室内に「藤だな」を作り沢山の藤の花を飾りました。気持ちのいい日和には、ドライブに出掛けたり、外気浴を積極的に取り入れています。また、玄関の横の花壇を花でいっぱいにして!と花の大好きな利用者様が中心になって、花壇を作り始めました。土を掘っていると虫が出て大騒ぎする職員に「こんな大丈夫よ!!」「起こしてごめんね・・・」と、やさしく土に戻してあげる利用者様。「早く花を植えたいね」「何の花がいいかしら」皆様といろいろ相談し楽しみながら、すてきな花壇を作っていきたいと思えます。(清水)

短期入所生活介護

ショートステイようざん



新緑が眩しい季節になりました。皆様は、いかがお過ごしですか?

ショートステイようざんでは、「生活する力」「生きる力」を維持して、生きている事を味わい喜ぶ人生を過ごせる事を目的として、ようざん通貨を取り

入れる事となりました。笑顔になれたり、職員の手伝いをしたり、体操

を頑張れたら等で、「10ようざん」を獲得します。カラオケやスロットマシン・ようざんCafé・スタジオヨウザン・セブンイレブンの昼食等、日々のサービスをご自分で選択して頂き貯めた“ようざん通貨”を消費して頂きます。ようざん通貨を使用する事で、利用者様の日常生活に活気が出た様に思えます。「ようざんを貯めて、こんな事がしたいね・・・」と、言う様な声も聞かれます。

先日も、ようざん通貨を使われての外出や、セブンイレブン企画での昼食やようざんCaféでゆっくりティータイムを楽しんで頂きました。自分で稼いだようざん通貨で支払いを済ませる時の笑顔が一段と素敵でした。これからも、生きている事を味わい喜んで頂ける様な当たり前の生活というサービスを提供していけたらと思います。

(西巻)



認知症対応型通所介護

スーパーデイようざん貝沢

元気一杯!笑顔の絶えないスーパーデイようざん貝沢では、今日も相変わらず、元気な笑い声がホール内に飛び交っております。ようざん貝沢では、5月12日に三周年感謝祭が盛大に行われました。祭りの準備段階から、利用者様にもお手伝いをして頂きながら、展示物となる写真の貼りだしから始めたのですが、まあ進まない事(笑)一枚



小規模多機能型居宅介護

ケアサポートセンターようざん貝沢

【季節を味わおう〜♪】

4月中旬、昨年大好評だった「いちご狩り」を今年も行いました。昨年もお世話になった高崎の天田農園さんを訪問、ハウスの中はたわわに実ったいちごがたくさん!!!

『これ食べていいの?』『ま〜!たくさんあるね〜』『う〜ん、甘くて美味しいね!』と参加された皆さん、夢中で大きないちごを頬張っていました。

【祝! 3周年!!】

おかげさまでケアサポートセンターようざん貝沢ではこの5月で3周年を迎えることが出来、5月12日(土)にスーパーデイと合同で3周年感謝祭を開催いたしました。当日はお天気にも恵まれ(強風

の写真から飛び出す沢山の笑顔と楽しい会話!!そんな時間に「マキ」を出し、準備を無事終え、当日は、大変賑やかな時間が流れておりました。舞台の上で踊る私達職員の踊りに合わせて、手足を動かされる利用者様。そんな姿に、温かい何かを感じたような気がします。これからも、様々な場面を通して、利用者様と共に、元気に楽しく毎日を過ごしていきたいと思います。(武井)

はご愛嬌で)、模擬店では、焼きそば、焼き鳥、フランクフルト、きのこ汁、フルーツポンチ等を提供。ボランティアの学生の方々にお手伝い頂き、利用者様からは『こんなにたくさん、美味しいね〜』のお言葉。

イベントは健康福祉大学短期部の生徒さんによる迫力のある和太鼓を披露していただき、また、きらめきの会・若草の会の皆さまによる優雅な踊り、貝沢職員による踊りも披露し大いに盛り上がりました。また、会場の全員参加で「憧れのハワイ航路」を踊り、利用者様のたくさんの笑顔があふれた3周年祭は幕を閉じました。地域の方々、他事業所職員の方々、たくさんの方々のご協力をいただき3周年祭を開催することが出来ました。本当にありがとうございました。これからも利用者様に喜んでいただける行事を企画して行きたいと思ひます。(金子)

ようざん貝沢 3周年感謝祭

ケアサポートセンターようざん石原

初夏の日差しが眩しい季節となり、外気浴や散歩日中で利用者様も明るく活気にあふれています。花壇には沢山の花が色鮮やかに並び、通りかかる近隣の方々も足を止め、花の名前を教えて頂きながら観賞を楽しまれています。

ユニット内では5月の制作物として、布地を使用した鯉のぼりを作りました。フェルトや金紙、銀紙で飾り付けし、立派な手作り鯉のぼりが出来上がりました。また、母の日イベントとして、手作りカーネーション、手作りブローチを女性利用者様に贈らせて頂き、お一人ずつ

記念撮影をすると、皆さん優しい笑顔で応えて下さいました。利用者様の笑顔ある生活が私達の充実感につながることを日々感じています。

そして利用者様の笑顔を求め5月19日にはようざん石原の最大イベントとなる“ようざん石原さつき祭”を開催しました。長い準備期間を経て、初めて行う大きなイベントに多くの笑顔を頂くことができました。ご家族様や地域の方々にも大勢ご参加頂き、大盛況の中終了することができたと思います。この感謝の意を忘れることなく、笑顔絶えないユニットづくりの為に職員一同努力していく所存です。これからもケアサポートセンターようざん石原を宜しくお願い致します。(早川)



認知症対応型通所介護

スーパーデイようざん石原

こんにちは。皆様お元気にお過ごしでしょうか？

スーパーデイようざん石原では季節を感じて頂きたいと、鼻高展望台「花の丘」へ花見に出かけたり、パンジーなど季節の花を鉢植えして春を感じて頂きました。また母の日のイベントとして、お赤飯とおふくろ煮を食べて頂きました。「おいしいよ!」と皆様完食され大変喜んでいらっしゃいました。

いろいろなイベントが多かった5月でしたが、その中でも最大のイベント、ようざん石原開設一周年を迎えてのお祭り「ようざん石原さつき祭」が5月19日(土)晴天の中開催されました。数か月前から利用者様と一緒に作製したお花がステージを華やかに彩り飾りました。

前田せつ子ショーの皆様による歌や踊りと素敵な衣装がお祭りに更に華を添えて下さり、屋台のフランクフルト、焼きそば、お好み焼きやかき氷は、来場者皆様にようざん通貨を使って、思い思いにお好きな物を購入して頂きました。出し物を楽しみながら心もお腹も一杯になられたようでした。当初職員による出し物だったタオル体操から、続く憧れのハワイ航路と炭坑節まで、ご利用者様やご家族、来場された方々が参加され、会場に一体感が生まれ大いに盛り上がりました。当日までどうなる事かと心配していましたが、大盛況のうちに開催出来ましたのもご家族様、地域の皆様をはじめ、他事業所の皆様のご支援ご協力の賜物と感謝しております。本当にありがとうございました。来年も、皆様に一層楽しんで頂けるよう職員一同頑張っていきたいと思っております。(大塚)

ようざん石原さつき祭

ケアサポートセンターようざん並榎

さわやかな季節となりました。ケアサポートセンターようざん並榎の室内には、利用者様に色塗りをして頂いた藤やぼたんの花が色鮮やかに咲いています。5月5日子供の日には、菖蒲湯にして入浴して頂きました。独特の香りの湯に利用者様からは「いい香り」と好評でした。とても気持ち良さそうで、心身ともにリラックスされていました。5月13日母の日には、日頃の感謝の気持ちを込めて職員手作りのカーネーションや押し花のストラップ等をプレゼントしました。「ありがとう」「きれいだね」と喜んで下さいました。これからも利用者様に楽しんで頂けるような行事を行なっていきたいと思います。(真下)



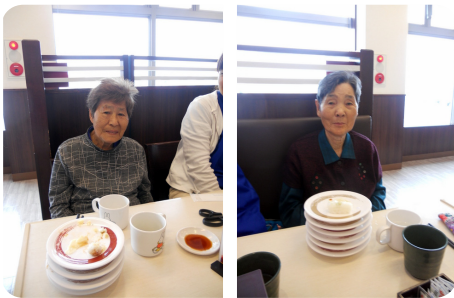
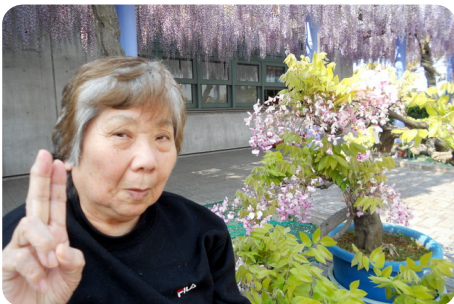
通所介護

デイサービスぽから

新緑の眩しい季節となりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。寒暖の差が激しく体調を崩されてはいませんか？ デイサービスぽからでは、皆様大変お元気で相変わらずドライブ三昧の毎日です。中でも、藤岡のふじの咲く丘や高崎公園、群馬の森は、たくさんのお花々が咲き、さわやかな風に吹かれ、大変気持ちの良いひと時を毎回過ごしています。皆で初めて、回転すしも食べに行きましたね。次は何を

食べに行きましょうか。

さて、デイサービスぽからは無事1周年を迎える事ができました。そこで、ありがとうの気持ちを込め、7月7日に「ぽから1周年祭り」を開催する事となりました。訪問介護ぽからや配食センターぽからと合同で行うので賑やかになるのではないのでしょうか。詳細はこれからですが、楽しく思い出に残る行事にするべく職員一同一丸となり、頑張っています。おたのしみに!! (芝田)



通所介護

デイサービスようざん並榎

この頃、地震や竜巻といった自然災害がたて続けにあり、暗いニュースも多いですがそんな時こそ元気で過ごしていただきたいと思い、利用者様と話をしていた所、「なる様にしかならないんだから、そんなの気にしてたら疲れるだけだよ〜♪」と、逆に元気を頂いてしまいました。戦争時代の過酷な体験をしてきた利用者様達にとっては「今の世の中まだまだ良いほうだよ〜」とホントに頼もしい限りです。

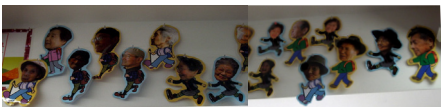
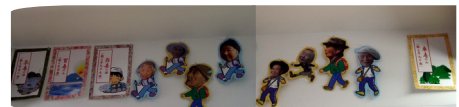
さて、5月のデイサービスでの様子ですが、今月も制作物、利用者様のご協力によりたくさんの素晴らしい作品できました。牛乳パックを使用して作った鯉のぼりの壁画と色鮮やかな折り紙を散りばめて作った兜の壁画。他にもお花紙を元に藤の花を作ってデイサービスのホール内に藤棚として設置させたりしました。また、一風変わった制作物として今年初めから取り組んでいた利用者様の顔写真を使った干支の壁画と長寿の祝いの山登りコーナーも完成することが出来ました。干支では実際の利用者様の干支に合わせてそこに写真を掲載、山登りコーナーでも実際のご年齢に合わせて配置させていただきました。ご本人、ご家

族の方々の快いご協力のもと完成しました。まことにありがとうございました。これからも利用者様が主役の空間が作れていけたらいいな〜と思っております。

まだまだ他にも、おやつではおはぎや、これまた一風変わったものとしてフルーツを餃子の皮で包んで焼いたりもしました。「利用者様と一緒に作る」ことを目的としていますので、ご自分で作られたものには、「満足」の笑顔がたくさん見られました。また、5月といえば母の日がありました。私達職員全員で作ったカーネーションをプレゼントさせて頂きました。中には涙して「ありがとう、ありがとう・・・」と連呼される方までいらっしゃいました。

中での取り組みだけでなく、慰問の方々のご協力、地域の方々のご協力と外部からの協力もあり、非常にありがたく思っております。この場を借りて感謝申し上げます。いつもありがとうございます。

これからも利用者様と一緒に見て、聞いて、行動するといったような触れ合いを大切にし「主権在客」のもと、まず誰よりも利用者様が主役の空間をどんどん作っていきたいと思います。(行方)



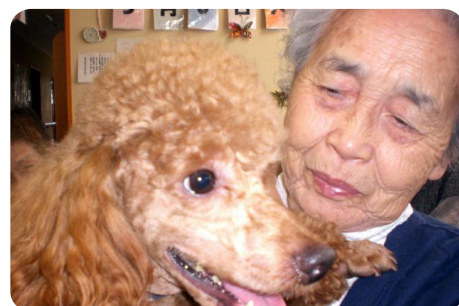
認知症対応型共同生活介護

グループホームようざん

汗ばむ日が多い季節となりましたが、皆様元気でおすごしです。

暖くなり、活動的になり、散歩の回数も増えています。皆様と一緒に製作した鯉のぼりが部屋の雰囲気を賑やかにしています。今月は大きいトイプードルが心を癒しに訪れてくれました。動物との触れ合いで笑顔がたくさんみられ、次の機会を心待ちにしているようでした。5

月には苺狩りにでかけました。おいしい苺を食べようと皆様熱心に苺を狩る姿がみられました。いちご狩りの時間は30分でしたがあっといふ間の、充実した時間だったのではないかと思います。これから梅雨になりすごしにくい時期を迎えますが、じめじめした雰囲気ではなく、からっとした明るい雰囲気皆様との時間をもてたらとおもいます。(林)



認知症対応型通所介護

スーパーデイようざん飯塚第2

みなさんこんにちは！ 最近は雨の日も多くなり、なんとなく気分も沈みがちになってしまっているようですが、スーパーデイようざん飯塚第二に来たら、そんな気分も吹き飛びますよ♪そんな、いつも笑いの絶えない明るい飯塚第二ですが、今回はその中でも特に「押し」ている事をご紹介させていただきます。

イチ押しペーパークラフトです！切る・貼る・折るなどの単純な作業を組み合わせて制作すると、あら不思議☆びっくりするほど素敵な作品が出来ます。利用者様もその出来栄に「良いのが出来たね！」と大満足。2つ、3つと作品を次々と制作されました。さらに、利用者様だけでなく、スタッフもその魅力にはまってしまい、もしかしたら利用者様よりもスタッフの方が熱心に制作しているのでは…という噂もあるとかないとか。今後も利用者様とスタッフが協力、時には競争して素敵な作品を制作していきたい



認知症対応型通所介護

スーパーデイようざん双葉

皆様、こんにちは。スーパーデイようざん双葉です。昨年ようざん通信で紹介した、金魚のキンちゃん、覚えて下さっていますか？キンちゃんは、元気に成長し、倍以上の大きさに育ちました。新しく小金魚2匹が仲間入りし、3匹の金魚が双葉の仲間です。人の気配を感じると、顔半分を水面から出し、パクパクとご飯を要求し、本当に元気で可愛いのです。ほんの数センチの生き物ですが、その小さな身体、全身で、癒しと、精一杯の生命力を見せてくれます。生き物が、身近にいるっていいですね。

さて、6月です。ついこの間、遅咲きの桜が散り、新緑の季節を迎



えたと思っていたら、季節はもう梅雨。今、スーパーデイ双葉の壁には大輪の紫陽花が満開です。毛糸を編んで張り付けた、かたつむりのマグネットも季節を感じる製作物です。また、好きなケーキを選んでいただくおやつバイキングも「どれにしようかな、みんなおいしそう。」と好評でした。個別のレクリエーションでは、若い頃、山登りが好きだったという、T様K様と、山の写真展に出掛けました。「よかったです、ありがとう。」とお言葉をいただきました。又、そんなふう喜んでいただける場所にお連れしたり、お好きな事を楽しんでいただけるように、考えていきたいと思いました。これから、本格的な暑さがやってきます。暑さに負けないで、楽しい事探しをしながら、職員一同、頑張っていきたいと思います。(猪熊)

小規模多機能型居宅介護

ケアサポートセンターようざん栗崎

日に日に暖かくなってきましたね。最近では初夏を思わせるような気温の日も多くなってきましたが皆様いかがお過ごしでしょうか？

ケアサポートセンターようざん栗崎では、スーパーデイようざん栗崎、ショートステイようざんと3ユニット合同で春の運動会を開催致しました。前日はどしゃぶりの雨が降り、運動会が無事に行えるかとても心配でしたが、運動会当日は風が少し強かったことを除けばすっきりと晴れた絶好の運動会日和となりました！運動会では職員と利用者様が赤城・榛名・妙義・浅間と4つのチームに分かれて玉入れ・スプーンリレー・パン食い競争などの競技で白熱した戦いが繰り広げられました！その中でも玉入れは「エイ！ヨイッショ」と声を出しながら皆様とても楽しまれておりました。利用者様も競技にとっても真剣に取り組んでおりましたが、職員も負けていません！職員対抗ぐるみリレーでは全力で走っておりました（笑）そんな運動会の優勝は浅間でした！競技の合間に2回の給水タイムを設けたおかげか、誰一人体調を崩さない

で楽しく運動会を行うことが出来ました。天候にも恵まれ、利用者様からも「楽しかったよ～！またやりたいね～！」とのお言葉をいただきました。

また、ランチレクとして「うどんランチ」を行いました。利用者様にはてんぶら用の野菜切りを手伝っていただきました。「野菜を切るなんて久しぶりだよ～！楽しいね～♪」と夢中になって切ってくださいました。天ぶらは3種類の中から2種類、食べたい物を利用者様に選んでいただきましたが、「どっちにしようかな～？こっちにしようかな～？」と楽しそうに選んでいました。そしてその天ぶらとうどんをツルツル～っと良い音を立てて、皆様美味しそうに召し上がっていました。

暑くなったり肌寒くなったりとまだまだ変わりやすい天候が続いておりますが、体調を崩さないように十分に気を付けつつ、ケアサポートセンターようざん栗崎では季節を感じられる行事を積極的に行い、利用者様と素敵な時間を築いていけたらと思います。（富澤）



訪問介護

訪問介護ぽから

こんにちは！訪問介護ぽからです。

5月23日にぽからから代表で5人が移送サービス運転の講習会へ行って来ました。講習会では、運転中および車両周辺での介助外出中に想定される場面において必要とされる基本的な介助技術、利用者・運転者どちらにとっても負担の少ない、安全な移乗方法や接遇介助の方法などを学んで来ました。講師の方が相手の気持ちになって頑張ってくださいと激励して下さいました。この日学んだ事を生かしてこれからも頑張っていきたいと思っております。（小泉）



日	月	火	水	木	金	土
					1 おやつレクリエーション (貝沢)	2
3 松扇会 (栗崎) 双葉コーラス (双葉)	4 生け花の日 (双葉)	5 お化粧デー (双葉)	6 誕生日個別レクリエーション (双葉)	7 ふれあいバラエティー (並榎) 菖蒲見学 (飯塚)	8 菖蒲見学 (飯塚) ドライブスルーおやつ (貝沢)	9 南京玉すだれ (並榎)
10 健康福祉大学生による読み聞かせ (貝沢)	11 アニマルセラピー (栗崎) 前田節子ショー (貝沢) 生け花デー (双葉)	12 おやつレクリエーション (飯塚・貝沢) むつみ会 (栗崎)	13 Cousin と唄おう (貝沢) チャリティーサマーコンサート (双葉)	14 お化粧レクリエーション (並榎) 前田節子ショー (双葉) 南京玉すだれ (石原)	15 さわやかハーモニカ (並榎) 音楽会 (飯塚) 仲良しクラブ (双葉)	16 お化粧デー (双葉)
17	18 生け花の日 (双葉)	19 岡本ブラザーズ (栗崎)	20 おやつレクリエーション (飯塚) おやつレクリエーション (貝沢)	21 オルガン演奏 (並榎)	22 前田節子ショー (石原)	23
24	25 アニマルセラピー (並榎) 生け花の日 (双葉)	26 高崎アコーディオンサークル (栗崎) 第3 2回よってって交流会 (双葉)	27 前田節子ショー (並榎)	28 松本梅しょう津軽三味線 (石原) 南京玉すだれ (貝沢)	29 おやつレクリエーション (貝沢)	30 南京玉すだれ (双葉)

居宅介護支援事業所ようざん“ある日の天声人語から”

『厚労省によると、全国の100才以上は4万7千人を超えている。超高齢化のイメージを覆す活動も多彩に聞こえてくる。医師の日野原重明さん、ベストセラー詩人の柴田トヨさん、有名人だけではない。頂戴した公募の歌集「老いて歌おう 第10集」を聞いたらこんな歌があった。

<百とせを すぐせし梅の切り株に 朱き茸生ゆ 二つ三つ四つ>

<人間という うれしいものに生まれてきて 百四歳の今日歌詠む>

みずみずしさにこちらの心に潤ってくる。きれいごとばかりの老いではないだろう。だが「うれしいもの」に生まれた喜びを老若が分かちあえる、この国でありたい。』

とても心にしみるコラムだったので紹介しました。利用者様と接するなかで、お互いに生きる喜びを感じ合えるようなかわりができればと思います。(松井)